

住宅地の中にある見通しの悪い交差点

自転車で飛び出しの男児、軽乗用車にはねられて重体

日没直前で、周囲も薄暗くなっていた

軽乗用車が優先側の道路を走行していたところ、
交差点を左方向から進行してきた自転車と出合いに衝突した

2018.3.20

住宅地の中にある見通しの悪い交差点で、自転車に乗った男児が交差進行してきた軽乗用車にはねられた。男児は近くの病院へ収容されたが、意識不明の重体となっている。

18日午後5時50分ごろ、市道を走行していた軽乗用車と、交差点から進出してきた自転車が出合い頭に衝突する事故が起きた。

警察によると、交差点に横断歩道や信号機は設置されていない。

軽乗用車が優先側の道路を走行していたところ、交差点を左方向から進行してきた自転車と出合いに衝突した。

衝突の弾みで自転車は転倒。乗っていた12歳の男児は路上へ投げ出された際に頭部などを強打し、近くの病院へ収容されたが意識不明の重体となった。

クルマを運転していた27歳の女性にケガはなく、警察は自動車運転死傷行為処罰法違反（過失傷害）容疑で事情を聞いている。

現場は住宅地の中にある見通しの悪い交差点。

警察は男児の自転車が安全確認を怠り、漫然と進入してきたものとみて、事故発生の経緯を詳しく調べている。

事故が起きた時間帯は日没直前で、周囲も薄暗くなっていた。

男児の自転車は安全確認を怠って（おそらくは何の確認もせずに）交差点に漫然侵入し、右から進行してきたクルマと衝突している。

男児が関係する典型的な飛び出し案件ともいえるが、自転車が、止まって左右を確認するだけで事故を防ぐことができる。

注意することで子供は嫌がるだろうが、大人としてはこれを徹底させたいところだ。

交通事故の約3割が、「駐車場」で発生

「構内」事故の防止（バック事故多発・・・後方の安全確認）

2018/3/20(火) 18:31

徐々に暖かくなり、休日は車で出かける機会が増えるこのシーズン。そこで、気をつけたいのが「駐車場での事故」です。調査によると、交通事故全体の約3割が駐車場で起きたもの。

駐車場で事故が起きやすい原因は、「公道との環境の違い」だと言います。

駐車場は公道と違い、歩道と車道の区別が明確にありません。

歩行者が停車中の車の陰から急に飛び出してくることもありますし、進行方向に対して逆走する車も珍しくありません。

さらに「焦りや気のゆるみが生まれやすいのが駐車場の特徴」。

混んでいる駐車場で、空いている場所を急いで確保しようとしたり、目的地に到着したときに気がゆるんだりすることが、安全確認を怠ってしまう要因になるそうです。

そのほか、慣れない場所で、勝手がわかりにくかったり、薄暗い環境で注意がおろそかになってしまったりと、普段とは違う状況によるハプニングが起こりやすいのが駐車場です。

駐車場に入ったら「公道よりも気をつけよう」という意識を持つことが大切かもしれません